南アルプス市 平成 24 年度 (兼)

## 事務事業マネジメントシート・マーダのようでは、

					<u> 朮)                                   </u>	*/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	<u> </u>		<b>队日日</b> 2			月		ト 八
事務事業名		県合併浄化槽普及促進協議会参画事業					所属部局	市民部			単位番号		4100	
	事務事業名	_					所属課室	環境課			課長名		高野 晃史	
			1			実施計画事業	所属担当		境保全担当		担当者			俊明
		基 IV 快適で心のかよいあう都市づくり					予算科目	会計 01	一般	款 04	<b>項</b> 02	日 03	<b>細目</b> 050	細々目 01
	以 宋	画	20	快適生活環境の	整備		<b>事业</b> 巨八		の制度による の制度による				設等維持 助金交付	
	施策	体 系	33	生活環境の保全			事業区分	□市	の制度による 務化されてい	義務	的事業	□ そ	の他の事	
	事業期間	_	年度のあ		区(開始年度	年度)	法令根拠		梨県合併処理					
_				复数年度(	~ 2000年間の計画は	年度)	事業費の主	#> rtn =□	1 / 04年日	# <b>\</b>	と 算見を	1 )		
争	事素の内容・場 浄化槽から排出され	7 <b>间限</b> 1る、オ	正 <mark>複数</mark> で	<b>∓度事業は次年度以</b> 全を維持するため、	<b>が降3年前の計画と</b> 合併処理浄化槽普	<b>谷も記載</b>    	サネダツエ 項日(細	ない <u>い</u> 節)	( 24年月 金額(千円	克 /2 1)			会家	頁(千円)
車							<mark>項目(細</mark> 普通旅費 法令外負担	4)-/		0	Ж.н	7.4H-PG-7	<u> </u>	#Y'''
							法令外負担	金		21				
の概														
要												計		21
1							l		:			μι	<u> </u>	21
	) 事務事業の目的 活動						⑤ 活	動指標	票(事務事業 <i>0</i>	)活重	量を表す	す指標)	数字は記	入しない
	人業 並五改於江熱 坦索可收入眼場子完								名称		(mm.n.	7. 7H. P.C.	単位	立
		4年及活動夫績						<ul><li>⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記名</li><li>名称 単位</li><li>プ 会議等の開催数 回</li></ul>						]
2	5年度活動予定	会議、	普及啓3	発活動、視察研修を	開催予定。		1							
2	対象(この事務事	業は	誰、何る	を対象にしているの	のか)*人や自然	<b>然資源等</b>		象指標	票(対象の大き	さを	表す指標	製字(	は記入しな	にい
ļ									<mark>!(対象の大き</mark> 名称				単位	立
職	員						<b>→</b>   ア 担	.当職員	員数				人	·
							1 1							
(3)	意図(この事務事業	業により	J対象を	どのような状態にし	ていくのか、どのよ	うに変えるのか)		果指標	(対象における	る意図	の達成度	を表す	指標)数字(	は記入しな
	<u></u>	101-01	//J///	<u>,,,,</u>				N. 11119	<mark>(対象における</mark> <b>名称</b> )参加者数	J / L .			単位	고
県	下の会員市町村と合	·同で台	併処理	浄化槽の知識を修復	得し普及促進に役	立てる。	<b>→</b> ア会	議等の	)参加者数				人	
,,,	1 1 2 2 1 1 1 1 1 1				140 11000000000000000000000000000000000	_ 100	・   イ   ウ							
<b>(4</b> )	上位目的(どのよ	うな糸	ま果に終	きび付けるのか)			<u>8</u> F	位成果	指標(結果(	の達用	戊度を表	す指標)	数字は記	入しない
<u></u>									<mark>指標(結果の 名称</mark> 生活排水施設				単位	立
合作	併処理浄化槽を普及	促進"	すること	で水質を保全する。			<b>→</b>   7   7	水道の	生活排水施設	との整	備につい	ハて	件	:
<u></u>							1 1:							
(2)	) 事業費・指標の津	<b>生移</b>	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	7 (100)	27年度		28年		最終	年度
	事業費・指標の対		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込·実績)	25年度 (予算・目標)	1 1:	目標)	27年度 (計画·目標)		28年 (計画·			年度コスト・目標
年	財ニ国庫支出	出金	千円 千円				26年度	目標)						
年間	財 温庫支出 源支出	金責	千円 千円 千円				26年度	目標)						
年間	財 国庫支出 県支出 アンドラ ボール アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア	出金 金 責 也	千円 千円 千円 千円	(決算·実績)	(決算見込-実績)	(予算・目標)	26年度		(計画・目標)			目標)		
年間	財 事 源 業 内 費 訳 ―――――――――――――――――――――――――――――――――――	出金金	千円 千円 千円 千円	(決算·実績) 	(決算見込·実績) 24	(予算·目標) 28	26年度	28	(計画·目標)	28		目標)		
年間トータル	B   国庫支比   東京   東京   東京   東京	出金 金 也 施 (A)	千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績)  23 23 1	(決算見込·実績)  24  24  1	(予算・目標)	26年度		(計画·目標) 2 2 2	28 28 1		目標)		コスト・目標
年間トー	国庫支比   東京   東京   東京   東京   大   一   東   東   大   上   大   大   大   大   大   大   大   大   大   大	出金 責 他 源 (A) 間	千円 千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績)  23 23 23 3	(決算見込·実績)  24  24  1  3	(予算·目標)  28  28  1  3	26年度	28 28 1 3	(計画・目標)	28 1 3		目標) 28 28 28 1 3		コスト·目標 0
年間トータル	I	出金 責 他 源 (A) 間	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千月	(決算·実績)  23 23 23 1 3 12	(決算見込·実績)  24  24  1  3  12	(予算・目標) 28 28 28 1 3 12	26年度	28 28 1 3 12	(計画·目標) 2 2 2	28 1 3 2		日標) 28 28 1 3 12		コスト·目標 0
年間トータル	国庫支比   東京   東京   東京   東京   大   一   東   東   大   上   大   大   大   大   大   大   大   大   大   大	出金 畫 也 源 (A) (A) (B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円	(決算·実績)  23 23 23 1 3 12 35	(決算見込·実績)  24  24  1  3	(予算·目標)  28  28  1  3	26年度	28 28 1 3	(計画·目標) 2 2 2 1 4	28 1 3		目標) 28 28 28 1 3	(トータル:	コスト·目標 0
年間トータル	I	出金 金 し 源 (A) (A) (B)	千円 千円 千円 千円 千円 千円 十円 千円	(決算·実績)  23 23 23 1 3 12	(決算見込·実績)  24  24  1  3  12  36	(予算・目標) 28 28 28 1 3 12 40	26年度	28 28 1 3 12 40	(計画·目標) 2 2 2 1 4	28 1 3 2 40		1 28 28 28 1 3 3 12 40	(トータル:	コスト·目標 0
年間トータル	国庫支比   東   東   東   東   大   一   大   一   大   一   大   一   大   大   大   大   大   大   大   大   大   大	出金	千円 千円 千円 千円 十一 十 十 十 十 十 十 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(決算·実績)  23 23 23 1 3 12 35 3.0	(決算見込·実績)  24 24 1 3 12 36 4.0	(予算・目標)  28 28 28 1 3 12 40 4.0	26年度	28 28 1 3 12 40 4.0	(計画·目標)  2  2  2  4	28 1 3 2 40		1 28 28 1 3 12 40 4.0	( <del>  -                                    </del>	コスト·目標 0
年間トータル	事業費計 人件費計 (A)+(B)	出金 も 原 (A) (A) (B) アイウア	千円 千円 千円 千円 千円 千円 十円 千円	(決算·実績)  23 23 23 1 3 12 35	(決算見込·実績)  24  24  1  3  12  36	(予算・目標) 28 28 28 1 3 12 40	26年度	28 28 1 3 12 40	(計画·目標)  2  2  2  4	28 1 3 2		1 28 28 28 1 3 3 12 40	( <del>  -                                    </del>	コスト·目標 0
年間トータル	国庫支比   東   東   東   東   大   一   大   一   大   一   大   一   大   大   大   大   大   大   大   大   大   大	出金 も 原 (A) (A) (B) アイウア	千円 千円 千円 千円 十一 十 十 十 十 十 十 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(決算·実績)  23 23 23 1 3 12 35 3.0	(決算見込·実績)  24 24 1 3 12 36 4.0	(予算・目標)  28 28 28 1 3 12 40 4.0	26年度	28 28 1 3 12 40 4.0	(計画·目標)  2  2  2  4	28 1 3 2 40		1 28 28 1 3 12 40 4.0	( <del>  -                                    </del>	コスト·目標 0
年間トータル	事業費 以	出金 (A) (A) (A) (B) アイウアイウ	千円 千円 千円 千円 十一 十 十 十 十 十 十 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(決算·実績)  23 23 23 1 3 12 35 3.0	(決算見込·実績)  24 24 1 3 12 36 4.0	(予算・目標)  28 28 28 1 3 12 40 4.0	26年度 (次年度計画·E	28 28 1 3 12 40 4.0	(計画·目標)  2  2  2  4	28 1 3 2 0 1.0		1 28 28 1 3 12 40 4.0	(h-9)L	コスト·目標 0
年間トータル	事業費計 人件費計 (A)+(B)	出金 (A) (A) (A) (B) アイウアイウ	千円 千円 千円 千円 千円 十 十 十 十 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(決算·実績)  23 23 23 1 3 12 35 3.0 1.0	(決算見込·実績)  24  24  1  3  12  36  4.0	(予算・目標)  28 28 28 1 1 3 12 40 4.0	26年度 (次年度計画·E	28 28 1 3 12 40 4.0	(計画·目標)  2 2 2 4 4 1	28 1 3 2 0 1.0		日標) 28 28 1 3 12 40 4.0	(h-9)L	コスト·目標 0
年間トータル	事業費 財源 国庫支出 不可	出金	千円         千円         千円         千円         千円         千円         千円         時間         千円         山         人	(決算·実績)  23 23 23 1 3 12 35 3.0 1.0	(決算見込·実績)  24  24  1  3  12  36  4.0	(予算・目標)  28 28 28 1 1 3 12 40 4.0	26年度 (次年度計画·E	28 28 1 3 12 40 4.0	(計画·目標)  2 2 2 4 4 1	28 1 3 2 0 1.0		日標) 28 28 1 3 12 40 4.0	(h-9)L	コスト·目標 0
年間トータルコスト	事業費 財源 国庫支出 現 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	出金 金 (A) 順 (A) 型 アイウアイウアイ	千円         千円         千円         千円         千円         千円         千円         千円         十回         人         件	(決算·実績)  23 23 23 1 3 12 35 3.0 1.0 64.0	(決算見込·実績)  24 24 1 3 12 36 4.0  50.0	(予算・目標)  28 28 28 1 3 12 40 4.0 50.0	26年度 (次年度計画·E	28 28 1 3 12 40 4.0	(計画·目標)  2 2 2 4 4 1	28 1 3 2 0 1.0		日標) 28 28 1 3 12 40 4.0	(h-9)L	コスト·目標 0
年間トータルコスト	事業費	出金 (人間 B) アイウアイウアイ 巻	千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 一 千円 一 千円 一 千円 一 一 一 一	(決算·実績)  23 23 23 1 3 12 35 3.0 1.0 64.0	(決算見込・実績)  24 24 1 3 12 36 4.0 1.0 2等)の変化、市目	(予算・目標)  28 28 28 1 3 12 40 4.0 50.0	26年度 (次年度計画·E	28 28 1 3 12 40 4.0	(計画·目標)  2 2 2 4 4 4 50	28 1 3 2 40 1.0 .0	(計画・	1.6 50.6	(h-9).	- O O O O O O O O O O O O O O O O O O O
年間トータルコスト	事業費 財源 国庫支出 (地名の )	出金 (A) (A) (B) アイウアイウアイ 参 で 巻 で	千円 千円 千円 千円 十千円 千円 十千円 一 十一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	(決算・実績)  23 23 1 3 12 35 3.0 1.0 64.0 対象者・社会状況章で開始されたの	(決算見込・実績)  24 24 1 3 12 36 4.0 1.0 50.0 2等)の変化、市野平成2年より県全体的で開催された。	(予算・目標)  28 28 28 1 3 12 40 4.0  1.0  50.0  R意見等	26年度 (次年度計画・E	28 28 1 3 12 40 4.0 1.0	(計画・目標) 2 2 2 1 4 4 1 50	28 1 1 3 3 2 2 10 1.0 0	(計画・	1.( 50.(	(トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル)	0 0 0 0 0 0 0
年間トータルコスト (3) ①	事業費 財源 国庫支出 東京 大田 東京 大田 東京 大田 東京 大田 で 大田 東東 東京 田 東東 東京 田 東東 東京 田 東京	出金 金 (A)数 アイウアイウアイ 巻頃 沢川	千円円で、一千円円で、一千円円で、一千円円で、一十一円円で、一十一円のでは、一十一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	(決算・実績) 23 23 1 3 12 35 3.0 1.0 64.0 対象者・社会状況 章で開始されたの	(決算見込・実績)  24 24 1 3 12 36 4.0 1.0 50.0 2等)の変化、市野平成2年より県全体的で開催された。	(予算・目標)  28 28 28 1 3 12 40 4.0  1.0  50.0  R意見等	26年度 (次年度計画・E	28 28 1 3 12 40 4.0 1.0	(計画・目標) 2 2 2 1 4 4 1 50	28 1 1 3 3 2 2 10 1.0 0	(計画・	1.( 50.(	(トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル)	0 0 0 0 0 0 0
年間トータルコスト (3)	事業費 財源 国庫支出 表	出金 (1) (A) (A) (B) (アイウアイウアイ 巻) 頃 (次) (次) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水	千円円で、一十一十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	(決算・実績) 23 23 1 3 12 35 3.0 1.0 64.0 が象者・社会状況 幸で開始されたの きまたは5年前と比 後の予測は?	(決算見込・実績)  24 24 1 3 12 36 4.0 1.0 50.0 2等)の変化、市野平成2年より県全体的で開催された。 浄化槽等からの排る。	(予算・目標)  28 28 28 1 3 12 40 4.0  1.0  50.0  R意見等	26年度 (次年度計画・E	28 28 1 3 12 40 4.0 1.0	(計画・目標) 2 2 2 1 4 4 1 50	28 1 1 3 3 2 2 10 1.0 0	(計画・	1.( 50.(	(トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル)	0 0 0 0 0 0 0
年間トータルコスト (3) ①	事業費 財源 国庫支出 (地名の )	出金漬也源(A人間(B) アイウアイウアイウアイ 参呼 深いる	千円円 千円円 千千円円 千千円円 千千円円 千千円	(決算・実績) 23 23 1 3 12 35 3.0 1.0 64.0 が象者・社会状況 章で開始されたの 詩または5年前と比 後の予測は? 事業対象者、議会	(決算見込・実績)  24 24 1 3 12 36 4.0 1.0 50.0 2等)の変化、市野平成2年より県全体的で開催された。 浄化槽等からの排る。	(予算・目標)  28 28 28 1 3 12 40 4.0  1.0  50.0  R意見等	26年度 (次年度計画・E	28 28 1 3 12 40 4.0 1.0	(計画・目標) 2 2 2 1 4 4 1 50	28 1 1 3 3 2 2 10 1.0 0	(計画・	1.( 50.(	(トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル)	0 0 0 0 0 0 0
年間トータルコスト (3) (1) (2) (3)	事業費 国庫支出 国庫支出 国庫支出 東京 大田 (本)	出金貨也源(A人間(B) アイウアイウアイ 巻頃にいる者望	千円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	(決算・実績) 23 23 1 3 12 35 3.0 1.0 64.0 が象者・社会状況 章で開始されたの 詩または5年前と比 後の予測は? 事業対象者、議会	(決算見込・実績)  24 24 1 3 12 36 4.0 1.0 50.0 2等)の変化、市野平成2年より県全体的で開催された。 浄化槽等からの排る。	(予算・目標)  28 28 28 1 3 12 40 4.0  1.0  50.0  R意見等	26年度 (次年度計画・E	28 28 1 3 12 40 4.0 1.0	(計画・目標) 2 2 2 1 4 4 1 50	28 1 1 3 3 2 2 10 1.0 0	(計画・	1.( 50.(	(トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル)	0 0 0 0 0 0 0
年間トータルコスト (3) (1) (2) (3) (4)	事業費	出金 (人間 B) アイウアイウアイ 巻頃 沢13 者望 みれ	千千千円円 千千円円 千千円円 千千円円 十千円円 十千円円 十千回 一 人 件	(決算・実績) 23 23 1 3 12 35 3.0 1.0 64.0 が象者・社会状況 章で開始されたの 詩または5年前と比 後の予測は? 事業対象者、議会	(決算見込・実績)  24 24 1 3 12 36 4.0 1.0 50.0  1.0  50.0  4.0  50.0  4.0  50.0  50.0  First and a second and a se	(予算・目標)  28 28 28 1 3 12 40 4.0 50.0  え意見等 下での合併処理浄化 水の臭いの苦情が	26年度 (次年度計画・E	28 28 1 3 12 40 4.0 1.0 60.0	(計画・目標) 2 2 2 1 4 4 1 50 50	28 1 3 2 40 0 0	《計画・	1.6 - 1.6 - 50.6 生の向」	(トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル)	0 0 0 0 0 0 0
年間トータルコスト 3 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 3 3 4 1 3 3 4 1 3 3 4 1 3 3 4 1 3 3 4 1 3 3 4 3 3 4 1 3 3 4 1 3 3 4 3 3 4 3 3 4 3 4	事業費 財源 国庫支出	出金貨 地源(人間) アイヴァイヴァイヴァイ 巻ば 沢っぽき みま	千千千人間 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	(決算・実績) 23 23 1 3 12 35 3.0 1.0 1.0 64.0 対象者・社会状況章で開始されたの 詩または5年前と比後の予測は? 事業対象者、議会られているか?	(決算見込・実績)  24 24 1 3 12 36 4.0 1.0 50.0  2等)の変化、市民平成2年より県全体的で開催された。 浄化槽等からの排る。 特になし 取り組み	(予算・目標)  28 28 28 1 3 12 40 4.0  1.0  50.0  R意見等	1: 26年度 (次年度計画・E (次年度計画・E )	28 28 1 3 12 40 4.0 1.0 が 進し生活	(計画・目標) 2 2 2 1 4 4 1 1 50 50	28 1 3 2 40 0 0	《計画・	1.6 - 1.6 - 50.6 生の向」	(トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル)	0 0 0 0 0 0 0
年間トータルコスト 3 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 3 3 4 1 3 3 4 1 3 3 4 1 3 3 4 1 3 3 4 1 3 3 4 3 3 4 1 3 3 4 1 3 3 4 3 3 4 3 3 4 3 4	事業費 国庫支出 原文 日本	出金貨 地源(人間) アイヴァイヴァイヴァイ 巻ば 沢? 係要 み実 の取り の 一次が 係要 み実 の取り の 一次の できます かま の の の の の の の の の の の の の の の の の の	千千十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	(決算・実績) 23 23 23 1 3 12 35 3.0 1.0 64.0  対象者・社会状況 章で開始されたの 詩または5年前と比 後の予測は? 事業対象者、議会 られているか?	(決算見込・実績)  24 24 1 3 12 36 4.0 1.0 50.0  2等)の変化、市民平成2年より県全体的で開催された。 浄化槽等からの排る。 特になし 取り組み	(予算・目標)  28 28 28 1 3 12 40 4.0 1.0 50.0    表意見等   本での合併処理浄化   水の臭いの苦情が	1: 26年度 (次年度計画・E (次年度計画・E )	28 28 1 3 12 40 4.0 1.0 が 進し生活	(計画・目標) 2 2 2 1 4 4 1 1 50 50	28 1 3 2 40 0 0	《計画・	1.6 - 1.6 - 50.6 生の向」	(トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル)	0 0 0 0 0 0 0
年間トータルコスト (3) (1) (2) (3) (4) (1)	事業費 財源 国庫支出	出金貨 地源(人間) アイヴァイヴァイヴァイ 巻ば 沢? 係要 み実 の取り の 一次が 係要 み実 の取り の 一次の できます かま の の の の の の の の の の の の の の の の の の	千千十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	(決算・実績)  23 23 1 3 12 35 3.0 1.0 64.0  対象者・社会状況。  **  **  **  **  **  **  **  **  **	(決算見込・実績)  24 24 1 3 12 36 4.0 1.0 50.0  2等)の変化、市民平成2年より県全体的で開催された。 浄化槽等からの排る。 特になし 取り組み	(予算・目標)  28 28 28 1 3 12 40 4.0 1.0 50.0    表意見等   本での合併処理浄化   水の臭いの苦情が	1: 26年度 (次年度計画・E (次年度計画・E )	28 28 1 3 12 40 4.0 1.0 が 進し生活	(計画・目標) 2 2 2 1 4 4 1 1 50 50	28 1 3 2 40 0 0	《計画・	1.6 - 1.6 - 50.6 生の向」	(トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル) (トータル)	0 0 0 0 0 0 0

	事務事業名	県合併	<b>持化槽普及促進協</b>	議会参画事業	所属部	市民部	所属課	環境詞	果	
2	延備(のちょうとす)	田 少 孝 に ト ス 耳	<b>[後][[</b> 加]	在事業什么出記年						
目的妥当性評価	①政策体系との整合この事務事業の目的は	合性 は市の政策体系の しているか?意図 いているか?	<b>事後評価</b> (複数年度事業は途中評価)							
	この事務事業を税金を わなければならないの 民間やNPO、市民協働 は可能か?	投入して市が行	<ul><li>✓ 妥当である ⇒【理由↓】</li><li>浄化槽の機能等を習得し、普及する目的であるため妥当である。</li></ul>							
		果から考えて、こったり、維持・継続?目的や事業の必	事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 □ 民間・NPO □ 市民協働 □ 見直し余地がある ⇒ 【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 □ 適切である ⇒ 【理由↓】 県の協議会会員として参加している。							
	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の ことはできるか?できた 因でできないのか?	)成果を向上させる ない場合は何が原								
有効性評価	⑤ 類似事業との統廃 類似した目的を持つ事 るか?類似事務事業か 事務事業との統合や連 きるか?	孫事業が他にあ がある場合、その								
	⑥ 休止・廃止した時止・廃止の可能性 この事務事業を休止・ はあるか?また成果か 廃止することはできるが	廃止した場合影響 いら考えて、休止・ か?	<ul><li>▼ 影響なし</li><li>□ 影響あり ⇒【理市町村間の情報交換。</li></ul>	<b>由と影響の内容↓】</b> が得られなくなる。	情	休止・廃止ができる 休止・廃止できない 報が得られないだけない	らば休止・廃止	ができる。		
効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)									
評価	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できない か?(事業のやり方の見直しによる業務 時間の削減や臨時職員対応や外部委託 による削減はできるか?)		□ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ■ 削減余地がない ⇒【理由↓】 ■ 事務処理と会議の内容が決められているため削減の余地はない。							
平 性		部の受益者に偏っ 負担を見直す必要	□ 見直し余地がある □ 公平・公正である 浄化槽設置は下水道		-	評価(Check2)・4 <sup>-</sup>	今後の方向性	に反映		
3	評価(Check2)	<b>扣</b> 当課管理者	による評価結果と	<b>終括</b>						
	1次評価者としての		(2) 1.	次評価の総括(事務事						
	① 目的妥当性 🔽	適切 🗌 見直し	ン余地あり 本協議	会による啓蒙・啓発が、	県民(市民)まで浸	と透し理解と協力を得ら	れるような方向	を期待したい	0	
	_	適切 ☑ 見直し								
	③ 効率性 ☑ 適切 □ 見直し余地あり									
④ 公平性 ☑ 適切 □ 見直し余地あり □ 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)										
				佑粉 翠 中 丁		1/2) =	マ革・改善によ	るち向州		
	) 今後の事務事業の 廃止(目的妥当性①、(			<u>・・・復奴選択リ</u> 隽(有効性⑤の結果)□	公平性改善(公平)	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	(半 以告にも	דן נהו ררף. דן נהו		
	□ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☑ 成果向上(有効性④の結果) □ 現状維持(全評価項目で適切)					項目で適切)	`.	コスト水準		
□ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) □ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)							削減	維持増	<u>10</u>	
<mark>(2)改革改善案[こついて</mark> ①県民(市民)を対象とした講演会・勉強会の ② ③			開催。				成果水準低 □			
								の場合け記す	入不要	
	) 改革改善を実現する	る上で解決すべる	き課題とその解決策		(5)事	務事業優先		• • •		
(1)2 (2) (3)	本協議会の協力。					成果	優先度評価網	洁果	12	

コスト削減優先度評価結果

6